

2024 年度事業計画

〔活動方針〕

2024年、今年度で指定通所介護事業所「みんなのおうち」が開所して16年。就労継続支援B型事業所「にじいろの樹」は8年。グループホーム「月見荘」は7年とそれぞれの事業所は施設規模的に満員の状態であり運営的にも安定期に入っていると思います。ただ介護人材不足は深刻で未だに人材確保には不安定な状況ではあり特にグループホームにおいては泊りを必要とする施設は人材確保に苦勞を強いられております。現在新しくホームの新築を計画していますが建物よりもまず人材の確保が先かと思う次第です。

しかし現在ある2棟のホームにおいて介護支援にあたる職員の献身的な支援のおかげでホームは和気あいあいのどかな雰囲気を出せております。必要とする支援の現場は時に摩擦も起こりますが都度乗り越えては、また和やかさが表れて、人間味のあるホームの生活が愛しくなってきました。この様な支援の姿はきっと人の心に響き、今後必ず必要な方は表れてくると信じています。ホームを待つ方は今も多く居られますので今年も新しいホームの実現を楽しみに国庫補助申請にチャレンジ致します。

また日中活動の居場所「みんなのおうち」「にじいろの樹」におきましても、もう手狭となっており増築、新築の計画も内容充実と合わせて皆様と語って行きたいと思っております。今年度活動計画の一番は「語り合ひましょう」ですね。

〔各事業所の今年度の目標〕

※「じゃがいものおうち」の役割と今後の活動について語ろう。

☆にじいろの樹 →心身共に楽しく健康に過ごす。

☆みんなのおうち→「健康第一に働く」をテーマに一日の時間を充実させ、みんなで達成感も持たせる事を目標とする。

☆グループホーム→お互いを思いやり、助け合いコミュニケーションの取れた温かい関係のグループホームにする。定期的に皆で話をして知恵、意見を出し合い交流を深める。

☆サロン湯之峯 →じゃがいものおうちやメンバーさんを知ってもらい、お互いの理解が深まる場をつくる。

①じゃがじゃがじゃんなど、地域交流の機会を持つ

②カフェ業務中でのお客様とのコミュニケーションを大切にする。

1、グループホーム建設・塩屋&製粉所の建設計画を進める

2、製造部門の品質管理、衛生管理、人材育成に努める

3、積極的に研修に参加し学習し経験を重ねる

4、福祉交流の実施 5、通信は年1回発行する

6、介護人材を確保するために、関係する機関、事業所、行政と共に働く

〔行事〕

○5月26日 通常総会 ○7月27日 尾之間温泉祭り

○10月～ 種子島運動会・ゆっくり館運動会参加、安房小、神山小福祉交流

○12月 餅つき1月下旬 ○未来館、民生委員との交流